

## 実測調査候補地（案）

※下記で示す調査理由は調査予定の源泉等の状況を記載しており、必ずしも当該温泉地を代表するものではない。

## ① 福島県 高湯温泉

泉質 : 酸性・含硫黄-カルシウム・アルミニウム・ナトリウム-硫酸塩温泉[硫化水素型]

調査理由 : 総硫黄濃度の高い温泉であるものの、引湯時にばっ気を行う等、遊離硫化水素濃度の低減を図っており、原則 1 日 2 回の硫化水素濃度が測定されている。これまでの測定場所と、新たに定める測定場所で濃度に違いがあるか確認するため。

## ② 群馬県 万座温泉

泉質 : 酸性・含硫黄-マグネシウム・ナトリウム-硫酸塩温泉  
[硫化水素型]

調査理由 : ばっ気槽を設け、原則 1 日 2 回の硫化水素濃度が測定されているが、複数の源泉を混合して利用しているため、硫化水素濃度の変化が起きることが予想される。測定のタイミングや検知管と拡散式硫化水素検知警報器の測定値の違いを確認するため。

## ③ 長野県 戸倉上山田温泉

泉質 : アルカリ性単純硫黄温泉

調査理由 : アルカリ性の硫黄泉について、多くの硫化水素型の温泉と同じく浴槽への注ぎ口付近が最も高濃度となるか確認するため。

## ④ 群馬県 草津温泉

泉質 : 酸性・含鉄・硫黄-アルミニウム-硫酸塩・塩化物温泉  
[硫化水素型]

調査理由 : 硫化水素型の温泉で大規模な湯畑を設け、ばっ気を行っている。ばっ気後の硫化水素の挙動について確認するため。